

豊田工業大学

中野 義昭
なかの よしあき

豊田工業大学 学長



保立和夫前学長の任期満了に伴い、中野義昭副学長が2025年9月1日付で、第8代学長に就任した。

中野新学長は1959年生まれ。1982年に東京大学工学部電子工学科を卒業後、同大学大学院にて電子工学専門課程の修士・博士課程を修了した。1987年に同大学工学部電子工学科に助手として採用され、1988年に専任講師、1992年に助教授。2000年に同大学大学院工学系研究科電子工学専攻教授へ就任した。2002年、同大学先端科学技術研究センターに異動、2008年に副所長、2010年に所長を歴任した。

豊田工業大学の教育の特色は機械システム・電子情報・物質工学の3分野を融合した「分野横断型履修」。安定した経営基盤のもと研究環境を充実させ、必修科目の学外実習等を通じて実践的な能力を育成する。2031年の開学50周年に向け、従来の特長と強みを鍛磨し進化していく。

2013年からは再び工学系研究科教授を務め、2025年3月に同大学を定年退職。4月に豊田工業大学副学長・教授に就任し、9月より現職。

専門分野は光電子デバイス工学。半導体レーザ、光集積回路、高効率太陽電池等の研究に従事した。

私大連フォーラム2025 開催！

テーマ | 2040年、大学教育のニューノーマルを描く

【発題者】

- 伊藤公平氏(慶應義塾長)
- 竹安栄子氏(京都女子大学学長)
- 小路明善氏(アサヒグループホールディングス株式会社会長)
- 【司会・コーディネーター】
- 高橋智幸氏(関西大学学長)

日時 令和8年3月17日(火)

13:00~15:30

情報交換会…15:35~16:10

会場 ステーションコンファレンス東京／
YouTubeライブ配信有

● プログラム詳細、参加お申込みはこちら

会場参加 ▶ 先着70名
オンライン視聴 ▶ 定員制限なし
[締切] 令和8年3月9日(月)

こちらから
お申し込み
ください



執筆者・出席者のご紹介(掲載順)

河合 久(かわいひさし)

中央大学学長。'83中央大学大学院商学研究科博士前期課程修了。'21より現職。専門は会計情報システム論。

田中 愛治(たなかあいじ)

早稲田大学総長。'85米国オハイオ州立大学政治学研究科修士博士一貫コース修了。政治学博士(Ph.D.)。早稲田大学教授、理事、世界政治学会(I.P.S.A)会長等を経て、'18より現職。

小池 茂子(こいけしげこ)

聖学院大学学長。'93青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得済退学(文学修士)。'23より現職。専門は成人教育学、生涯学習論。

湯澤 恵介(ゆざわけいすけ)

学校法人梅村学園中京大学学術情報システム部情報システム課主任。中京大学情報理工学部情報知能学科卒業。市役所を経て、'25中京大学に入職。主にDX推進を担当。

坂倉 康平(さかくらこうへい)

学校法人上智学院総務局経営企画グループ。早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修士課程修了。富士通総研でICT活用に係る

コンサル・調査に従事後、'21上智学院入職。

設工学専攻修了。

武田 享也(たけだゆきや)

駒澤大学総合情報センター情報ネットワーク課。駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部卒業。'14駒澤大学に入職、'19より現職。

喜多 真一(きたしんいち)

国立大学法人大阪大学情報推進部デジタル戦略推進室専門職員。'06大阪市立大学理学部地球学科卒業。民間企業を経て、'09大阪大学に入職、'21より現職。

三宅 雅人(みやけまさと)

立命館大学副学長・社会共創推進本部長。○I.C総合研究機構教授。'03奈良先端大博士後期課程研究指導認定退学。博士(工学)。同大学准教授を経て、'23より現職。

北野 寧彦(きたのやすひこ)

早稲田大学キャンパス企画部長。早稲田大学理工学部建築学科卒業。一級建築士。総合建設会社を経て、'04早稲田大学入職。'08より企画・建設課長、'23より副部長、'25より現職。

太田 幸治(おおたこうじ)

愛知大学ささしま地域連携研究センター(ASTASIA)センター長・地域連携室副室長・経営学部教授。専攻はマーケティング。主著『はじまりのアートマネジメント』(共著・水曜社)など。

澤田 英行(さわだひでゆき)

芝浦工業大学システム理工学部長・環境システム学科教授。キャンパス整備・SDGS推進担当理事。'87芝浦工業大学大学院建

関西学院大学社会連携・インキュベーション推進課長。関西学院大学社会学部卒業。機械メーカー勤務を経て、'02関西学院入職。人事部、入試課等を経て、'22より現職。

永野 誠(ながのまこと)

関西学院大学社会連携・インキュベーション推進課長。関西学院大学社会学部卒業。機械メーカー勤務を経て、'02関西学院入職。人事部、入試課等を経て、'22より現職。

吉村 和真（よしむら かずま）

学校法人京都精華大学理事長、京都精華大学マンガ学部教授。'99立命館大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。修士（文学）。'06准教授、'13教授、'24より理事長。

宮越 美紀子（みやこしきこ）

学校法人成蹊学園総務部長兼企画室広報担当部長。ピーチくんの作者でありプロデューサー。作者としての名前はコキミセルナ。

吉田 敦（よしだ あつし）

南山大学学生部長・理工学部教授。'96名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（工学）。豊橋技術科学大学助手、和歌山大学講師を経て、'09南山大学着任、'14より現職。

菊地 映輝（きくちえいき）

武蔵大学社会学部准教授。博士（政策・メディア）。国際大学講師を経て、'24より現職。専門は文化社会学、情報社会論等。

中島 啓（なかじま けい）

日本女子大学食科学部教授。'01防衛医科大学

学校医学研究科修了。博士（医学）。神奈川県立保健福祉大学教授を経て、'22より日本女子大学家政学部教授。'25より食科学部長。

外川 智恵（とがわ ちえ）

大正大学表現学部教授。同大学卒業。カリフオルニア臨床心理大学院修士課程修了。山梨放送を経てフリー。NTT技術ジャーナル巻頭インタビュー、新語・流行語大賞の総合司会など。

鈴木 志保子（すずき しほこ）

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科研究科長、公認スポーツ栄養士。東海大学大学院医学研究科修了。博士（医学）。'00国立鹿屋体育大学助教授。'23より現職。

春田 和恵（はるた かすえ）

学校法人東京女子大学大学運営部長。同大学文理学部卒業。教育研究支援部を経て、総務課長を務めた後、'19より現職。

川添 麻衣子（かわそえまいこ）

同志社女子大学広報部広報室広報課長。同大学学芸学部音楽学科卒業。同大学'04入社。'1710月より広報部広報室広報課にてブランディング広報関連業務に従事。'2510月より現職。

菅沼 隆昭（すがぬまた かあき）

文教大学大学事務局局次長。

森田 学（もりた まなぶ）

追手門学院大学大学事務局教務学生支援部部長、株オーティエム監査役。'06入職後、教学系及び法人部署を複数経験。'23より現職。日本私立学校振興・共済事業団第20期研修生。

南雲 健介（なんもん けんすけ）

法政大学総長室広報課課長。

（お断り）本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き

● 11月11日(火)

全私学連合の代表として、全私学連合構成団体会長とともに文部科学大臣を表敬訪問



加盟大学学長インタビュー動画 「学長ときどき 私」を公開

この動画は、私大連会員大学の学長にフォーカスし、学長としてのお仕事、研究者としての活動、プライベートの過ごし方などをお伺いし、学長の魅力を伝えることを通じて、私立大学での多様な学びや学ぶこととの楽しさなど、私立大学の魅力を視聴者にお届けしています。

新たに関西大学 橋智幸学長へのインタビューを公開、今後も随時公開予定です。



開催報告

● 12月2日(火)～3日(水)

財務・人事担当理事者会議（第2回）

<https://www.shidairen.or.jp/>



詳細は、私大連Webサイトをご覧ください。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLXbCovKS0ta1Rjej5Na3BL2SaCdVSihT>



- 11月25日(火)
第7回理事会、第2回総会に出席
- 12月16日(火)
第9回常務理事会に出席

令和7年秋の叙勲・褒章 (私大連事業関係者)

◆ 旭日中綬章

ハンス ユーゲン・マルクス

（南山大学名誉教授、南山学園元大学長、元理事長）

◆ 瑞宝重光章

吉田 美喜夫

（立命館元総長・大学長）

◆ 瑞宝中綬章

大久保 信行

（中央大学名誉教授）

◆ 河合 宣孝

馬本 誠也

（同志社大学名誉教授）

木南 英紀

（福岡大学名誉教授）

内田 勝一

（順天堂大学学長特別補佐、元大学長）

（早稲田大学名誉教授）

次号予告 2026.3 NO.427

2026.3

※内容は変更になる場合があります。

座談会 「大学スポーツがつくる“誇り”と“つながり”－ブランディング戦略としての新展開－」

特集 「教育視点から高大連携を考える」

小特集 「外国人留学生受け入れ拡大とキャリア支援－大学の国際化と日本定着の未来－」

だいがくのたから 専修大学

大学点描 同志社大学

クローズアップ・インタビュー

室屋 義秀さん(エアレース・パイロット／エアロバティック・パイロット)

編集後記

◆今回の特集で見えてきたのは、大学が「知」を閉じ込める場から、社会に循環させるハブへと変貌している姿である。キャンパスをひらき、地域と共に価値を創るという共通の理念があり、図書館やカフェ、広場相談窓口などの空間の開放は単なる施設利用にとどまらず、研究成果や教育プログラムを地域に還元する仕組みを伴っている。そこでは、学生が地域課題に挑み、企業や自治体と協働しながら、学びを実社会に接続する実践が広がっている。大学は今立地するまちのインフラとして、文化と知の発信拠点の役割を担つており、キャンパスはもはや「囲われた学びの場」ではない。地域住民にとっては、学びや交流の場であり、課題解決のパートナーともいえる。一方セキュリティや運営負担という課題もあり、持続可能な仕組み作りが求められる。今回の特集を通じ、地域と共生し、未来を共創する大学の挑戦は、日本社会の持続可能性を支える新しいモデルとなる可能性を強く感じた。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・関西学院広報部企画 広報課課長 中谷良規)

◆自分で企画しておきながら言ってしまうが、テーマが大学発のキャラクターであり、各校、割とほっこりとした記事になるのかと想像していたら大間違いであった。6校とも各担当部署や自分の大学のキャラクターに愛情を注ぐ学生や教職員の熱量、そして緻密な広報戦略を感じる素晴らしい事例紹介である。どの事例でも、学生、教職員、保護者など大学を取り巻くステークホルダーへのプランディングの促進やコミュニケーションの役割をキャラクターがしっかりと担っている。とりわけ2010年代以降のSNS登場により画像やデジタルスタンプ、動画などのコンテンツにおいて、既存の着ぐるみ活動やグッズ展開だけでなく、その活躍の場をより拡大している印象だ。最後に、成蹊大学のピーチくんのように公募ではなく1人の職員のイラストから始まる展開は大変興味深かつた。大学キャラクターの今後がますます楽しみである。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・早稲田大学エクステンションセンター事務長兼コンティニューアイリング・エ

◆ 「思い込みを捨てる」—鈴木先生のこの一言から始まるお話は、強く印象に残るものであった。取材した2025年は昭和100年にあたる年。元号が平成となつた1989年以降を思い起こすだけでも、昭和の時代には考えられなかつた様々なことが起きている携帯電話やインターネットの登場、世界的なパンデミックの経験などが思い浮かぶが、座談会のテーマとなつた生成AIの登場と活用もその一つである。「これを脅威と捉えるか、機会と捉えるか」と座談会では坂倉氏が発言しているが、「思い込みは可能性を狭める」との鈴木先生の言葉とも通じるものを感じる。生成AIもスポーツ栄養学も、人類の歴史で考えると生まれたての存在である。新しいものや変化は脅威にも感じられることはあるが、これを夢や可能性と捉えるマインドが重要と感じる。

かく言う私は、まだ生成AIと出会えていない側にある。昭和101年目、新たな出会いに向き合う時かもしれない。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

◆今回の特集で見えてきたのは、大学が「知」を閉じ込める場から、社会に循環させるハブへと変貌している姿である。キャンパスをひらき、地域と共に価値を創るという共通の理念があり、図書館やカフェ、広場相談窓口などの空間の開放は単なる施設利用にとどまらず、研究成果や教育プログラムを地域に還元する仕組みを伴っている。そこでは、学生が地域課題に挑み、企業や自治体と協働しながら、学びを実社会に接続する実践が広がっている。大学は今立地するまちのインフラとして、文化と知の発信拠点の役割を担つており、キャンパスはもはや「囲われた学びの場」ではない。地域住民にとっては、学びや交流の場であり、課題解決のパートナーともいえる。一方セキュリティや運営負担という課題もあり、持続可能な仕組み作りが求められる。今回の特集を通じ、地域と共生し、未来を共創する大学の挑戦は、日本社会の持続可能性を支える新しいモデルとなる可能性を強く感じた。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・関西学院広報部企画 広報課課長 中谷良規)

◆自分で企画しておきながら言ってしまうが、テーマが大学発のキャラクターであり、各校、割とほっこりとした記事になるのかと想像していたら大間違いであった。6校とも各担当部署や自分の大学のキャラクターに愛情を注ぐ学生や教職員の熱量、そして緻密な広報戦略を感じる素晴らしい事例紹介である。どの事例でも、学生、教職員、保護者など大学を取り巻くステークホルダーへのプランディングの促進やコミュニケーションの役割をキャラクターがしっかりと担っている。とりわけ2010年代以降のSNS登場により画像やデジタルスタンプ、動画などのコンテンツにおいて、既存の着ぐるみ活動やグッズ展開だけでなく、その活躍の場をより拡大している印象だ。最後に、成蹊大学のピーチくんのように公募ではなく1人の職員のイラストから始まる展開は大変興味深かつた。大学キャラクターの今後がますます楽しみである。(広報・情報委員会大学時報分科会委員・早稲田大学エクステンションセンター事務長兼コンティニューアイリング・エ

◆ 「思い込みを捨てる」—鈴木先生のこの一言から始まるお話は、強く印象に残るものであった。取材した2025年は昭和100年にあたる年。元号が平成となつた1989年以降を思い起こすだけでも、昭和の時代には考えられなかつた様々なことが起きている携帯電話やインターネットの登場、世界的なパンデミックの経験などが思い浮かぶが、座談会のテーマとなつた生成AIの登場と活用もその一つである。「これを脅威と捉えるか、機会と捉えるか」と座談会では坂倉氏が発言しているが、「思い込みは可能性を狭める」との鈴木先生の言葉とも通じるものを感じる。生成AIもスポーツ栄養学も、人類の歴史で考えると生まれたての存在である。新しいものや変化は脅威にも感じられることはあるが、これを夢や可能性と捉えるマインドが重要と感じる。

かく言う私は、まだ生成AIと出会えていない側にある。昭和101年目、新たな出会いに向き合う時かもしれない。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (118大学 令和8年1月20日現在)

愛知大学	関西大学	ノートルダム清心女子大学	東邦大学
亜細亞大学	関西学院大学	大阪学院大学	東北学院大学
青山学院大学	関東学院大学	大阪医科大学	東北公益文科大学
跡見学園女子大学	関東学院大学	大阪女学院大学	東海大学
梅花女子大学	慶應義塾大学	大谷大学	常磐大学
文教大学	敬和学園大学	追手門学院大学	東京女子大学
筑紫女子学園大学	神戸女学院大学	立教大学	東京女子医科大学
中京大学	皇學館大学	立正大学	東京経済大学
中央大学	國學院大學	立命館大学	東京国際大学
大東文化大学	国際武道大学	立命館アジア太平洋大学	東京農業大学
獨協大学	国際基督教大学	龍谷大学	東京情報大学
獨協医科大学	駒澤大学	流通科学大学	東京歯科大学
姫路獨協大学	甲南大学	流通経済大学	東洋大学
同志社大学	久留米大学	西武文理大学	東洋英和女学院大学
同志社女子大学	共立女子大学	聖学院大学	東洋学園大学
フェリス女学院大学	京都産業大学	成城大学	豊田工業大学
福岡大学	京都精華大学	聖カタリナ大学	津和光大学
福岡女学院大学	京都橘大学	成蹊大学	早稲田大学
福岡女学院看護大学	九州産業大学	西南学院大学	山梨英和大学
学習院大学	松山大学	聖路加国際大学	四日市大学
学習院女子大学	松山東雲女子大学	聖心女子大学	四日市看護医療大学
白鷗大学	明治大学	専修大学	
阪南大学	明治学院大学	石巻専修大学	
広島女学院大学	宮城学院女子大学	芝浦工業大学	
広島修道大学	桃山学院大学	白百合女子大学	
法政大学	武藏大	仙台白百合女子大学	
実践女子大学	武藏野大学	昭和女子大学	
上智大学	武藏野美術大学	創価大学	
城西大学	名古屋学院大学	園田学園大学	
城西国際大学	南山大学	大正大学	
順天堂大学	日本大	拓殖大学	
金沢星稜大学	日本女子大学	天理大学	

大学時報

University Current Review

2026/1月号

第75巻426号(通巻439号)

令和8年1月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

松田美佐(中央大学文学部教授)

発行人 高橋智幸(関西大学学長)

須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

藤野圭(上智大学ダイバーシティ・サステナビリティ推進室室長)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課長)

私学会館別館

中谷良規(関西学院広報部企画広報課長)

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

河越英代(慶應義塾広報室長)

<https://www.shidairen.or.jp>

野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)

編集 株式会社 WAVE

大野百合子(立教学院総長室涉外課課長補佐)

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20

勝屋藍太(立命館大学総合企画部広報課長)

明治安田生命大阪梅田ビル 3階

山田健太(専修大学文学部教授)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1

高橋慈海(大正大学理事長室室長)

住友不動産虎ノ門タワー 20階

大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)

中條賢二(津田塾大学経営企画課長)

小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務長兼)

春名貴明(日本私立大学連盟事務局)

加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)

長尾早姫(日本私立大学連盟事務局)

吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

